

いっしょ い こううん
「一緒に行こう」－幸運なこと

Nguyen Thu Ha
(グエン トウ ハー)
しゅっしんち
出身地：ベトナム

みなさん、こんにちは。わたしはグエン トウー ハーと申します。よろしくねがいます。

日本に来てから、もう10か月になりました。時間が経つのがとても早く、ドラえものの時間の扉『どこでもドア』から出てきたような気分です。私は、優秀な日本語通訳者になるという大きな夢を持って日本に来ました。そこから、日本語を学ぶという旅が始まりました。そして、日本での興味深い体験が少しずつ増えてきました。

外国人のみなさん、日本に来た時、一番怖かったことは何ですか。私にとって一番怖いのは、電車を乗り間違えることです。意外ですか。

私は、バイクや車で移動することがメインの国であるベトナムで生まれたので、電車に乗るのがとても不思議です。

私の最も忘れられない思い出のひとつは、東京で電車やバスに負けたことです。東京の電車やバスは難しいです。日本人のみなさんは、東京の電車やバスは難しいと思いませんか。

以前私は友人を訪ねて名古屋に旅行することがありました。その時は、柏の家から電車で東京駅まで行き、夜行バスで名古屋まで行くことにしました。

電車で東京駅まで行くことも大変でしたが、夜行バスに乗ることが、もっと大変でした。

東京駅に着くと、駅の中がとても騒がしくて圧倒されました。バス停を探すのにしばらく苦労した後、それでも名古屋行きのバスがわからず、パニックに陥りました。バスに乗るまで残り10分というところで、数人の日本人に聞き、走ったものの、日本語がよく分からないので、ほとんど何を言っているのか理解できませんでした。

それでも諦めなかった私は、母親と同じくらいの年齢の日本人を見つけました。私は口ごもりながら、「ごめんなさい、名古屋行きのバスが分かりません。教えてくださいませんか。」と言いました。彼女はためらうことなく「私も一緒に行きます。急ぎましょう。」と言い、私の手を取って、急いで駅員さんのところへ走って行き、聞いてくれました。その時は泣きたいほど嬉しかったです。

わたし み あと かのじょ じょう む いん い な ご や い
私のためにバスを見つけた後、彼女はバスの乗務員のところへ行き、それが名古屋に行
くのに正しいバスであることをもう一度確認し、引き返して私を安心させるためにOKの
あい ず かのじょ ねつ い かんしゃ わたし はし かのじょ だ
合図をしてくれました。彼女の熱意に感謝し、私は走っていき彼女を抱きしめ、ベトナム
ひととはこのじょ わたし に ほんじん そんな い あい
のキャンディーを一箱彼女に渡しました。このおかげで、私は日本人をととても尊敬し、愛す
るようになりました。

さい ご わたし に ほん ご まな たび さき なが に ほんじん ふ ぶん か きょういく ふ
最後に、私の日本語を学ぶ旅はまだ先が長いですが、日本人に触れ、文化、教育に触れ、
し や ひろ じ ぶん じょじょ せいちょう わたし だいに ふるさと
視野が広げられ、自分も徐々に成長してきました。私にとって第二の故郷になりました。
に ほん せいかつ みじか じ かん うれ かな ほんとう
日本の生活はまだ短い時間ではありますが、嬉しいこともあり、悲しいこともあり、本当に
さまざま かんじょう うつく くに に ほん おも かんしゃ き も つた
様々な感情があります。この美しい国、日本への思いと感謝の気持ちを伝えるためにも、
よ つうやくしゃ がん ば べんきょう おも
良い通訳者になれるよう頑張って勉強したいと思います。

せいちょう
ご清聴ありがとうございました。